

2022年6月16日

東京大学 先端科学技術研究センター

「高野山会議 2022」開催のご案内

東京大学先端科学技術研究センター（東大先端研）は、先端アートデザイン分野が中心となり「Nature-Centered」の視点から1200年後の未来を語る「高野山会議 2022」を開催する運びとなりました。

「高野山会議」は、開創より1200年の歴史を持つ高野山の真言宗総本山金剛峯寺および高野山大学を舞台とし、東大先端研の新しい研究展開を皆さまに広くご紹介するとともに、科学技術×アートデザイン×宗教の深い対話を通じてダイバーシティとインクルージョン（D&I）の未来を形づくることを目的とした、ユニークな科学文化学術会議です。昨年2021年11月に第1回を開催し、今回は2回目となります。

会議ではテーマごとにセッションを設け、各方面でご活躍の方々にご講演いただくほか、当研究所社会連携研究部門パートナー企業による公開ディスカッション、東京フィルハーモニー交響楽団による弦楽合奏公演、高野山内外のエクスカージョンなど、多様なプログラムを用意しております。

空海の曼荼羅の世界に満たされた高野山において、アートデザインと科学を結び、包摂的な社会を実現するために何ができるかを感性豊かにディスカッションする4日間です。開催概要およびプログラムは別添のとおりとなりますので、是非取材いただきますようよろしくお願いいたします。

記

1. 主催：東京大学先端科学技術研究センター（主管：先端アートデザイン分野）
共催：和歌山県／高野町／高野山真言宗総本山金剛峯寺／高野山大学
2. 開催日時：2022年6月30日（木）13時30分～7月3日（日）15時00分（予定）
3. 場所：高野山真言宗総本山金剛峯寺 <https://www.koyasan.or.jp/>
高野山大学 <https://www.koyasan-u.ac.jp/>
4. 規模：50名（個別セッション）～300名（公開セッション・コンサート）程度
（大学教員・学生、連携研究部門パートナー企業、東京フィルハーモニー交響楽団 等）
5. 費用：参加費無料、ただし交通費／宿泊費／昼食費は参加者自身で負担

主なプログラム：	※各セッションの概要は別紙に記載		
6月30日（木）	13:30～15:00	開会式、オープニング講話（金剛峯寺新別殿）	
	15:30～18:00	セッション 01（金剛峯寺講堂）	
7月1日（金）	10:00～12:00	セッション 02（金剛峯寺講堂）	
	14:30～17:30	パートナー企業による公開ディスカッション （高野山大学黎明館）【公開セッション】	
7月2日（土）	13:00～15:00	セッション 03（金剛峯寺講堂）	
	15:30～17:30	セッション 04（金剛峯寺講堂）	
7月3日（日）	9:30～11:30	セッション 05（高野山大学 201 大教室）	
	13:00～14:20	クラシックコンサート（高野山大学黎明館）	
	14:30～15:00	クロージング（高野山大学黎明館）【公開セッション】	



東京大学先端科学技術研究センター 先端アートデザイン分野について

東京大学先端科学技術研究センターは、1987年の設立以来、学術の発展と社会の変化から生じる新たな課題へ挑戦し続け、新領域を開拓することによって科学技術の発展に貢献することを使命としています。材料、環境・エネルギー、情報、生物医化学、バリアフリー、社会科学の6つのカテゴリーのもと、50にのぼる研究室が文・理の垣根を越えた領域横断の研究活動を行っています。

2021年1月に設立した先端アートデザイン分野は、先端科学技術研究センターのあらゆる分野と連携を図りながら、多様な人材が経験と知識を共有し、お互いに気づきを与え合い、種々のプロジェクトを展開してまいります。

<https://www.aad.rcast.u-tokyo.ac.jp/>

<セッション概要>

開会式、オープニング講話

日時：6月30日(木) 13:30～15:00

場所：金剛峯寺新別殿

開会宣言 東大先端研教授・先端アートデザイン分野研究統括・教授 神崎亮平

ホスト挨拶 東大先端研所長・教授 杉山正和
高野山真言宗宗務総長 今川泰伸氏
和歌山県知事 仁坂吉伸氏
高野町長 平野嘉也氏
高野山大学学長 添田隆昭氏

来賓紹介

東大先端研教員紹介

オープニング講話「お大師様の寛容精神」 総本山金剛峯寺社会人権局長 藤本善光氏

SESSION 01

日時：6月30日(木) 15:30～18:00

次世代育成

場所：金剛峯寺 3F 講堂

統括：東大先端研教授 神崎亮平、東大先端研特任教授 近藤薫

進行：東大先端研特任研究員 森晶子

(目的)

人間性豊かな未来と人材育成をみすえ、芸術、宗教、科学技術の果たすべき役割、そして「高野山会議」の意義を議論する。

(概要)

「高野山会議 2022」の最初のセッションとして、人間性や倫理性ある未来をみすえ、芸術・宗教・科学技術分野の専門の立場からの話題提供と、4日間にわたり繰り広げられる各セッションを担当する先端アートデザイン分野の教員等からその目的を紹介し、芸術・宗教、科学技術の果たすべき役割、そして「高野山会議」の意義についてパネルディスカッションを行う。

登壇者 東京藝術大学名誉教授 澤和樹氏
(株)ホンダ・リサーチ・インスティテュート・ジャパン代表取締役社長 重見聡史氏
高野山大学教授 前谷彰(恵紹)氏
住友商事株式会社 望月雅志氏、兵頭宣俊氏
東大先端研所長・教授 杉山正和
および 先端アートデザイン分野メンバー

SESSION 02

インクルーシブデザイン

日時：7月1日(金) 10:00 ~ 12:00

場所：金剛峯寺 3F 講堂

統括：東大先端研特任教授 伊藤節

(目的)

持続的な包摂社会創造のためのインクルーシブデザイン。科学、アート、デザインの視点からソーシャル・インクルージョンの未来に向けて我々がすべきことを議論する。

(概要)

SDGs の幾つかのゴールにも謳われるノーワンビハインド、先端アートデザインラボの主要テーマでもあるインクルーシブな社会の創造の為の方法論の一つとして、医学博士で当事者研究の研究者熊谷晋一郎准教授から科学者視点でインクルーシブアカデミーについて、音楽構成作家の新井鷗子先生からアーティスト視点でインクルーシブアーツについて、伊藤節特任教授からデザイナー視点でインクルーシブデザインについて其々お話した後、持続的な包摂社会創造のために我々がすべきことを一緒に議論していく。

登壇者 横浜みなとみらいホール館長・東京藝術大学客員教授 新井鷗子氏
東大先端研准教授 熊谷晋一郎 (当事者研究分野)

SPECIAL SESSION

先端アートデザイン社会連携研究部門公開セッション
～1200年という時間軸から考える～

日時:7月1日(金)14:30 ~ 17:30

場所：高野山大学松下講堂黎明館

先端アートデザイン社会連携研究部門パートナー企業 (五十音順)：

株式会社資生堂	住友商事株式会社	ソニーグループ株式会社
日本たばこ産業株式会社	日本電気株式会社	富士通株式会社
マツダ株式会社	ヤマハ株式会社	ヤマハ発動機株式会社
株式会社リクルート	BLBG 株式会社	

(目的)

「1200年後」という未来・長期的思考をベースに、住職・学生・企業等多様な価値観の交換による新たなアイデア創出・気づきの機会とする。

(概要)

先端アートデザイン分野と、各分野で日本をリードする11社の産学連携プロジェクト「先端アートデザイン社会連携研究部門」の公開セッションを行う。1200年後という大テーマに従い、グループ毎に事前設定した自由テーマに基づき事前に議論を重ね、当日発表を行う。また、各発表内容に対して全員参加型でディスカッションを行う。大学研究者・僧侶・学生・企業の皆が双方向での意見交換を行い、新たな価値創造を目指す。

【一般参加可：事前申込み不要】

SESSION 03

人間と宗教とテクノロジー

日時:7月2日(土)13:00 ~ 15:00

場所:金剛峯寺 3F 講堂

統括:東大先端研特任准教授 吉本英樹

(目的)

宗教とテクノロジーの共通項を探り、これからの未来に両者がどのように、時に手を取り合いながら、人間と関わっていくべきかを議論する。

(概要)

テクノロジーはもはや現代の宗教だとも言われる。その是非はさておき、技術が人間の価値観や存在にまで影響を与える時代であることは間違いない。今年には東大先端研の人工知能研究の原田達也教授と、高野山大学から密教学の松長潤慶氏を迎えて、人間と機械の関係、宗教観が技術発展に及ぼしうる影響など、テクノロジーと宗教のこれからの議論する。

登壇者 高野山大学教授 松長潤慶氏 (密教学科)
東大先端研教授 原田達也 (マシンインテリジェンス分野)

SESSION 04

気候変動・持続可能なエネルギー・社会システムとデザイン

日時:7月2日(土)15:30 ~ 17:30

場所:金剛峯寺 3F 講堂

統括:東大先端研特任准教授 伊藤志信

(目的)

人間中心の文明拡大がもたらした気候変動の悪影響を最小限にとどめ、自然と調和するエネルギー・社会システムを築くことはできるのか、過去の気象から自然の摂理を識り、持続可能な社会に人々を導く技術とデザインの役割を論じる。

(概要)

私たちの生活は、地球上の物質・エネルギー循環に拠っている。過去から現在にわたる気象のビッグデータを再整備することで、気候変動の影響を定量的に論じ、エネルギー・トランジションの目標・戦略を明確化できる。一方、再生可能エネルギーに根差した社会の姿は地域ごとに異なり、その最適な設計にも気象データは不可欠である。そして、持続可能な社会を粹に実現する、デザインの力が今求められている。

登壇者 東大先端研所長・教授 杉山正和 (エネルギーシステム分野)
東大先端研教授 中村尚 (気候変動科学分野)

SESSION 05

日時:7月3日(日)9:30～11:30

仏教とは宗教か?

場所:高野山大学(201大教室)

統括:高野山大学教授 前谷彰(恵紹)氏(インド哲学・仏教学、空海思想)

(目的)

仏教を religion の訳語としての「宗教」の範疇で捉え得るかどうかの問題について議論する。

(概要)

文化人類学的に見て、「宗教」とは何であるかについて概説し、religion の語源を探り、日本において「宗教」という言葉がどのような経緯を経て定着するに至ったかについて探求し、仏教=宗教という等式は成立し得ないことを検証する。

登壇者 北海道大学大学院文学研究院教授 小田博志氏(文化人類学)

<関連事業>

- ・高野山会議PRコーナーの設置@まちかどサロン縁(パートナー企業ポスターセッション等)
- ・東京フィルハーモニー交響楽団メンバーによる学校訪問コンサートの開催
(6月30日(木)午前10時45分開演@高野町立高野山小学校・体育館)
- ・東京フィルハーモニー交響楽団メンバーによる弦楽四重奏
(7月1日(金)12時00分開演@金剛峯寺お台所)
- ・先端アートデザイン分野教員による作品の展示@高野山金剛峯寺別殿

(別紙添付資料)

東京大学先端科学技術研究センター ×
東京フィルハーモニー交響楽団

高野山会議 2022 クラシックコンサート

7月3日 開場 12:15
開演 13:00 (閉会式終了 15:00 予定)

高野山大学松下講堂黎明館

参加無料・要事前申込

【曲目】

J. S. バッハ 2つのヴァイオリンのための協奏曲 より
A. ドヴォルザーク 弦楽セレナーデ ほか

【出演】

東京フィルハーモニー交響楽団 弦楽アンサンブル
コンサートマスター：近藤 薫

東京フィルハーモニー交響楽団コンサートマスター /
東京大学先端科学技術研究センター特任教授

【申込受付】

高野町企画公室 高野山会議コンサート受付担当

TEL 0736-56-2932 FAX 0736-56-3022

または右記 QR コードよりウェブ登録



FAX でお申込の際は以下項目をご記入ください。

【代表者氏名】 【代表者ご住所】 【代表者お電話番号】

同伴者がある場合、【すべての同伴者氏名】

主催：東京大学先端科学技術研究センター (主管：先端アートデザイン分野)

共催：和歌山県 / 高野町 / 高野山真言宗総本山金剛峯寺 / 高野山大学

www.aad.rcast.u-tokyo.ac.jp/koyasan/

【特別出演】

ヴァイオリン 澤和樹

東京藝術大学 名誉教授

前東京藝術大学長



高野山に響く 弦の調べ



高野山会議

(別紙添付資料)



K
O
Y
A
S
A
N
CONFERENCE
2022

高野山會議

科学・芸術・宗教の対話が見つめる
一二〇〇年後の世界とは。

高野山會議 2022

2022年6月30日～7月3日 於金剛峯寺 / 高野山大学

主催：東京大学先端科学技術研究センター (主管：先端アートデザイン分野)

共催：和歌山県 / 高野町 / 高野山真言宗総本山金剛峯寺 / 高野山大学

www.aad.rcast.u-tokyo.ac.jp/koyasan/

